

● 草の根パートナー型

平成16年度第1回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	フィリピン
2. 事業名	フィリピン共和国ベンゲット州イトゴン町9村落におけるコミュニティヘルスケア強化プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	フィリピン保健省の重点施策地域の一つがCARと言われる山岳地域で、イトゴン町はその一つである。町の9村落の住民4万7千人は山岳少数民族であり、アクセスの困難さゆえに医療はほとんど届いていない。地域の医師、看護師等の医療専門家の増員も期待できない。そこで住民自身に自らの健康を守るコミュニティヘルスケアの考え方を根づかせること、そのために職能の異なる3職種のヘルスワーカーの養成と、彼らの指導にあたる看護職の再教育は喫緊の課題である。
4. 事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 住民の自立を図るコミュニティヘルスケアの考え方の普及。 ● そのための実施体制の整備・充実を図る。 ● 3職種ヘルスワーカーの養成システムの確立。 ● ヘルスワーカー養成に携る看護職指導者教育システムの確立。
5. 対象地域	フィリピン共和国ベンゲット州イトゴン町
6. 受益者層	イトゴン町住民4万7千人、イトゴン町9か村妊産褥婦、乳幼児等、イトゴン町9か村ヘルスワーカー、イトゴン町看護職員
7. 活動及び期待される成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 9村落の住民にコミュニティヘルスケアの考え方が普及し、ヘルスワーカーと協働して地域ぐるみで自立的な健康改善活動に取り組むことができる。 ● その結果妊産褥婦や乳幼児死亡率、感染症の罹患率が低下し、住民の食生活と栄養状態が改善され、健康な生活を送ることができる。 ● 3職種のヘルスワーカー養成教育が定期的を実施され、約800人が養成されると同時に、その養成システムが確立する。 ● ヘルスワーカー養成に携わる看護職指導者に対する教育が定期的を実施され、より質の高い活動が行われると同時に、その教育システムが確立する。
8. 実施期間	2005年1月～2007年12月（3年間）
9. 事業費	第一年度契約金額：2,570千円（精算金額：2,570千円） 第二年度契約金額：23,774千円
10. 事業の実施体制	1. INFJ（International Nursing Foundation of Japan：国際看護交流協会）本部運営委員会（理事長、役員、職員、他） 2. 運営委員会：ベンゲット州政府保健局、イトゴン町保健局、INFJ、IAAPI（INFJ Alumni Association of the Philippines, Inc.） 3. 管理委員会：ベンゲット州知事・保健会議議長、イトゴン町長・保健会議議長、INFJ理事長
II. 実施団体の概要	
1. 団体名	財団法人 国際看護交流協会
2. 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 開発途上国に対する看護の技術協力、国際協力・研究
3. 対象国との関係、協力実績	<ul style="list-style-type: none"> ● 東南アジア諸国等看護婦指導者研修事業（既修了生70余名） ● 幹部看護婦国際研究会（1975-2002） ● 看護管理研修事業（1980-） ● 国際緊急医療専門家開発事業（1991-2001）